

浦和高校卓球部活動記録

2010.2.14

2009年度(下半期)大会実績

団体3位、シングルス3名、ダブルス4組予選通過

H21年度 新人大会県南予選(於 上尾運動公園体育館)(2010,1/29,31,2/1)

県南予選 準決勝 vs 浦和南高校



3番 竹原・曾根 (後方 浦高ベンチ)



1番 岡本 (右下) 2番 柳武 (左上)

秋の大会、新型インフルエンザによる学校閉鎖のために出場辞退を余儀なくされ、思いも強く臨んだこの大会であった。準決勝までは順当に勝ち上がり、県大会のシード権をかけたこの試合であったが、好選手をそろえた相手チームの壁は厚く、健闘実らず準決勝敗退となった。

個人戦においても予選突破を目指し、皆頑張りを見せた。結果、シングルス3名、ダブルス4組が県大会出場権を得た。

記録

団体戦	2回戦	3 - 0	開智	
	3回戦	3 - 1	浦和市立	
	4回戦	3 - 0	川口	
	準決勝	0 - 3	浦和南 (地区第1シード)	県南予選1位通過)

個人戦	予選通過者					
	シングルス	岡本 (best8)	曾根	田邊		
	ダブルス	曾根・竹原	岡本・田邊	柳武・丹羽	中村・藤井	

H 2 1 年度 県新人大会 (於 上尾運動公園体育館) 2010.2.5~7

4シードの壁厚く、健闘及ばず敗退



8 決定戦 VS 正智深谷高校 (3番 ダブルス 曾根・竹原) 左側

昨年同様の対戦相手である。正智深谷は旧埼玉大深谷の名称でかつて吉田監督の下、何度も全国優勝した学校である。監督が他校(青森山田)に移った後は並の学校であったが、埼玉大時代の名選手平監督就任の後、主に女子を強化(昨年インターハイ3位)、男子もここ数年力を付けている学校である。12月に行われた関東選抜大会では1位狭山ヶ丘、5位埼玉栄、そして正智深谷は13位となっている。

団体戦記録

1 回戦	浦和	3 - 1	坂戸
	竹原	1 - 3	深田
	岡本	3 - 0	加藤
	曾根・竹原	3 - 1	深田・廣澤
	曾根	3 - 1	相坂
2 回戦	浦和	3 - 0	浦和北
	岡本	3 - 0	武井
	柳武	3 - 1	辻本
	曾根・竹原	3 - 0	辻本・山田
3 回戦	浦和	0 - 3	正智深谷 (第3シード)
	柳武	1 - 3	崎山
	曾根	0 - 3	山市
	曾根・竹原	0 - 3	山市・南

(ベスト16)

* 個人戦は単複とも上位進出ならず

団体は県 16 という結果でしたが、内容はそれほど納得のいくものではありませんでした。今回の戦いでも、いつものように試合になるとプレーが堅くなってしまっているのが見受けられました。これは浦高の弱点といえると思うので、今後改善していきたいです。

普段の練習を見ると技術的な面でかなり成長してきたと感じています。しかし、試合になるとそれが発揮できないのは、まだ、本当の実力が身につけていないからだと思います。自分のめざしたプレーを試合中、意識しなくてもできるというレベルに達するまで徹底的に練習していきたいです。また、そうすることで試合に勝つ自信につながれば良いと思います。

今回の大会を通じて自分たちの弱点や課題がはっきりと見つかりました。一人一人が大会でのプレーを常に振り返りながら工夫し、より質の高い練習を日々心懸け、4月の大会では県ベスト4入りを果たしたいです。

浦和高校卓球部 部長 岡本 潤

OB 会 短 信

2010.2.14

3月21日(日)OB会総会が開催されます。(詳細は別紙)
皆さん、ふるって参加のほど、よろしくお願ひします

浦和高校卓球部 OB 会 会長 田端 毅

埼玉県立浦和高校卓球部OB会活動報告

2010 1 29

浦高卓球部OB会は会員360名（H21年3月現在）+現役部員にて構成されている。初代会長筒井隆幸（高2回）、2代目田口一男（高9回）、そして一昨年（2007年）田端毅（高27回）が3代目会長として現在に至っている。この間、長年にわたり会長を努めて頂いた田口氏をはじめ、副会長原田宜亮（高11回）土屋伸一（高16回）、幹事長加藤久夫（高17回）、池上良久（高18回）各氏らにより実質支えられてきた。現役諸君への助成の他、会員相互の親睦を図り、OB会という絆を保つ役割を20年以上担って頂いたことは感謝の言葉もないほどである。特に昭和50年代の、県外大会出場が連続した当時（関東大会団体3回、個人2回、インターハイ個人出場）は大いに盛り上がり、激励品を贈るなど現役選手諸君にとって多くの助力となったと記憶している。OB諸氏は各年代に於いて合宿等の機会に実際のプレーでの指導の他、経験に根ざした貴重な助言や金銭的な援助等を行ってきた。また、隔年であったOB総会もこのところ毎年行うようになり、OB対現役の対抗戦の他、懇親会を行い互いに旧交を温めあっている。

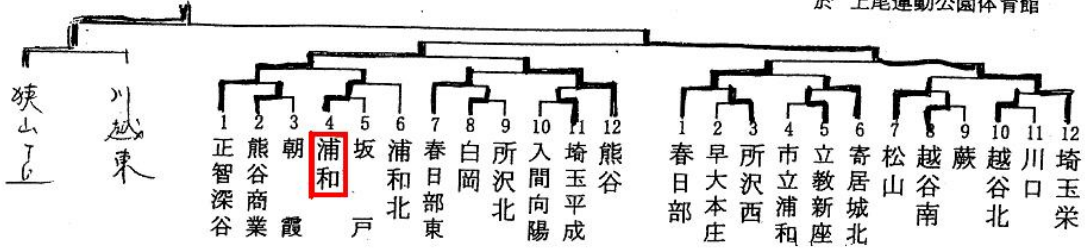
さて、最近の卓球部の大会成績であるが、前顧問、田中先生の指導の元、立派な成果を収めてきた。この10年において関東予選、新人戦併せて県ベスト16以上10回、地区優勝1回、準優勝3回を記録している。個人でもあと1勝で県外大会に手が届くところまで勝ち進んだ者もいた。また、部全体の盛り上がりも素晴らしく、プレーしている選手のみならず常にベンチも含め一丸となって戦う姿勢は他校の監督からも賞賛されている。浦高の誇れる実績として、一流選手はいなくとも常に県内上位のレベルを保ち、少なくとも気持ちの上では代表となる選手と同様の姿勢で取り組んできた、それが50年以上の伝統となって活着していることである。この点に於いては県内のどの高校にも負けないものを持っていると思う。今後もそのこだわりと気概を持って卓球という競技以上のものを受け継いでいってほしいと思う。その後見としてOB会は存在したい。

昨年からは会員相互の連絡用にメールサービスを行っている。まだ試行錯誤の段階ではあるがOB会関連の連絡の他、現役の活動報告として最新の各大会の結果を配信している。現役部長のコメントも載せ、写真入り、データをつけてA42頁ほどのものである。現役とOBをつなぐ通信の役割を担うものとして活用している。現役の活躍、奮闘ぶりをOBは懐かしく思い、後輩に（或いは自分に）頑張れとエールを送り、また現役諸君にとっては次のモチベーションを奮い立たせるきっかけとなれば幸いである。ゆくゆくはWebページとして整理、リアルタイムな活動報告と会員相互の情報交換の場としたいと考えている。浦高、卓球部そしてOB会のますますの発展を願う次第である。

田端 毅（高27回）

2009年度 埼玉県高等学校卓球新人大会
兼 関東高校卓球大会第一次予選

2010年2月6日・7日
於 上尾運動公園体育館



(第3種郵便物認可)

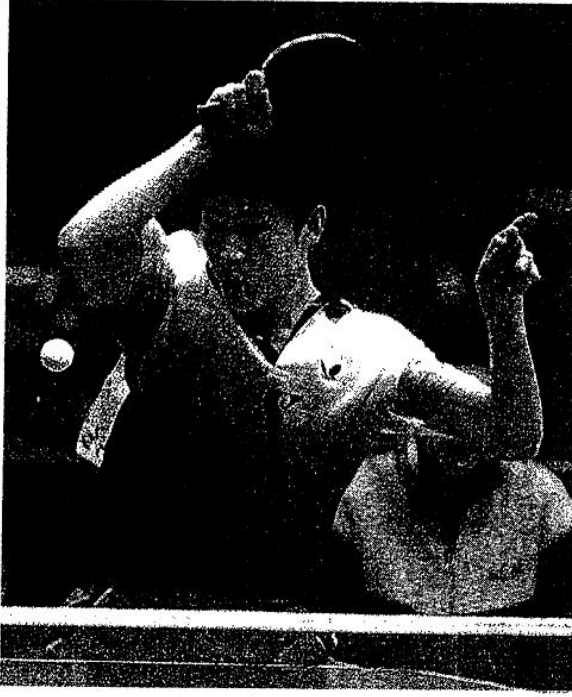
男子団体 狭山ヶ丘が連覇

女子3年ぶり正智深谷

男女団体の決勝までが行われ、男子は狭山ヶ丘が2年連続8度目の栄冠を獲得。女子は正智深谷が3年ぶりの2度目のタイトルに輝いた。

男子の狭山ヶ丘は決勝で2年前の覇者である埼玉栄に3-2で競り勝った。2-2で迎えた最終セット、5日に行われたシングルスで制した1年生の藤原が逆転勝ちを収めた。

女子の正智深谷は決勝で2年ぶりの優勝を目指した埼玉栄に3-1で快



男子団体決勝 狭山ヶ丘-埼玉栄 逆転で2連覇に貢献した狭山ヶ丘の藤原

勝した。1年生の中浜、田代が単復で活躍し、勝利に貢献した。

○：卓球
(最終日・上尾運動公園体育館)

埼玉栄	3-0	正智深谷	埼玉栄	3-1	星野
狭山ヶ丘	3-1	埼玉栄	3-1	越谷南	
山崎	3-1	正智深谷	3-0	越谷西	
小島	3-0	埼玉栄	3-2	秋草学園	
山崎	2-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
藤原	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
加藤	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
山崎	2-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
藤原	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
加藤	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
山崎	2-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
藤原	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	
加藤	0-3	正智深谷	3-1	埼玉栄	

強心臓の1年生奮起

要所で力を見せた男子の狭山ヶ丘が連覇を果たした。「調子が悪く崩れそうになったが、よく踏ん張った」と宮本監督は選手の健闘をたたえた。

決勝は2-2の最終セット、シングルの藤原が奮起した。1-2で迎えた第4ゲームで4-6の劣勢から7点を連取し逆転。「1球1球思い切ってプレーした」と強心臓を誇る1年生だ。

12月の関東高校選抜大会は1部で優勝した。主将の小島は「関東で勝って自信がついた。全国選抜で4強が目標」とチームの思いを代弁した。

(勝俣直)

高校新人大会

(7日) 三